



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,951	2.1	172	45.7	173	47.6	108	59.0
2020年3月期第3四半期	5,056	21.5	118	79.3	117	79.3	68	82.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 158百万円 (91.2%) 2020年3月期第3四半期 82百万円 (72.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	19.91	
2020年3月期第3四半期	12.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,818	4,583	58.6
2020年3月期	7,431	4,643	62.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,583百万円 2020年3月期 4,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		20.00	39.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,468	28.0	616	220.8	614	248.9	400	300.0	73.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	5,500,000 株	2020年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	51,446 株	2020年3月期	51,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,448,563 株	2020年3月期3Q	5,448,586 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の第二波の影響が残るものの、政府施策等の効果により個人消費も回復基調となってきましたが、COVID-19感染拡大第二波の状況を上回る第三波の到来によって、景気の先行きは再度不透明感が高まる状況となりました。また、企業の生産活動や設備投資は、総じて停滞状態が継続しており、不透明なまま推移しております。

このような状況のもと、当社主力製品である「アルファフレームシステム」は、構造部材としての販売が堅調に推移したものの、停滞する設備投資の影響によって、FA装置の受注環境は極めて厳しく、低調に推移いたしました。しかしながら、当社各部門は来期以降の案件に対して積極的な提案営業を展開し、受注の確保に注力いたしました。

また、第2四半期より引き続き、当第3四半期においてもWith/Post COVID-19のニューノーマル時代への変革に対応できるよう生産設備の見直しを推進し、効率化が図れる設備を積極的に導入するとともに、既存設備に対してもデジタル技術を活用できるよう改良等を加えるなど、様々な施策を講じてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,951百万円（前年同四半期比97.9%）、営業利益は、172百万円（前年同四半期比145.7%）、経常利益は173百万円（前年同四半期比147.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、108百万円（前年同四半期比159.0%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では、2020年5月以降、COVID-19の影響で従来の営業活動に支障が出ているものの、オンラインによる営業活動においてその効果をより発揮できる当社独自の「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件及び新規引合い案件は順調であり、前期に対して微減したところで維持しております。また、大口顧客向け継続案件は、第2四半期連結累計期間より受注は順調に推移し、当第3四半期連結累計期間の受注が増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は3,557百万円（前年同四半期比112.3%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、前期末に複数大型案件の納入が完了したことによる装置製作工程の谷間から、当第3四半期連結累計期間には回復を見込んでおりました。しかしながら、COVID-19の影響が長期拡大化していることにより、一時的な設備案件の減少とともに、予定していた設備案件の一部はキャンセルではないものの来期への計画延期となるものも出てまいりました。

この結果、当部門の売上高は618百万円（前年同四半期比56.2%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともCOVID-19の影響を受け、生産調整が計られたことにより消耗品や治工具類の売上が大きく減少いたしました。しかしながら機械設備関係については、前年同四半期よりも売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は775百万円（前年同四半期比98.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ386百万円増加し、7,818百万円となりました。これは主に、現金及び預金が594百万円、電子記録債権が242百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が197百万円、仕掛品が203百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ446百万円増加し、3,234百万円となりました。これは主に、電子記録債務が128百万円、長期借入金134百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が50百万円減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ59百万円減少し、4,583百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が45百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上108百万円及び配当金の支払い217百万円があったことにより、利益剰余金が109百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ594百万円増加し、1,266百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の612百万円のキャッシュ・インに対し、817百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加173百万円やたな卸資産の減少による資金の増加168百万円及び未払消費税等の増加による資金の増加207百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の462百万円のキャッシュ・アウトに対し、112百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が102百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の249百万円のキャッシュ・インに対し、111百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは長期借入れによる収入200百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出65百万円や配当金の支払いによる支出217百万円があったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年5月8日に発表しました業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとに、生産及びお客様への納入計画等についての精査を行っている最中であることから、業績予想値を据置いております。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があり、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

第1四半期においては、COVID-19の急速な感染拡大及び長期化によって各企業は感染予防策として様々な制限を設けた結果、全般的に経済活動は低調に推移し、第2四半期ではCOVID-19の感染拡大第二波の到来があったものの、様々な政府施策等の効果によって回復の兆しが見受けられ、各企業はWith COVID-19の新しい時代に順応するべく体制を喫緊の課題として捉えながら営業活動に注力する状況となりました。当第3四半期においては、幅広い地域、幅広い年代層に感染の広がりが見られ、COVID-19感染拡大第二波の状況を上回る第三波の到来によって、新たな企業体制の構築に拍車がかかる状況となっております。

このような状況により、今後のWith/Post COVID-19のニューノーマル時代への変革に対応するべく、危機に強い継続性のある製造現場を作ることが最大のテーマとなっており、IoT・AI技術に加え、“5G+Edge”を活用した製造業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を加速化することにより、COVID-19がもたらす危機を乗り越える強い製造現場への革新が求められております。最終的に目指すべきゴールは「工場の無人化」の構築であります。着々とスマートファクトリーの実現化が進んでおり、それを図るための投資が、益々旺盛になっていくことが予想されております。

これらの革新及び構築に欠かせない技術であり、その根幹を担う半導体や電子部品の製造は、益々拡大しております。これら半導体や電子部品の製造装置においては、当社のアルファフレームシステムが多数利用されており、同時に当社装置部門のFA装置やクリーンブース等の需要も高まることが期待されております。

当社といたしましては、これら案件に対する受注活動に注力するとともに生産体制の強化を図り、業績の拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,945	1,266,091
受取手形及び売掛金	1,022,814	825,293
電子記録債権	1,152,399	1,394,412
商品及び製品	220,266	274,715
仕掛品	580,097	376,712
原材料及び貯蔵品	462,375	445,175
その他	206,159	25,913
流動資産合計	4,316,058	4,608,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,070,892	3,078,665
減価償却累計額	△1,346,654	△1,424,836
建物及び構築物 (純額)	1,724,237	1,653,828
土地	733,647	733,647
その他	985,494	1,150,622
減価償却累計額	△653,652	△701,735
その他 (純額)	331,842	448,887
有形固定資産合計	2,789,727	2,836,363
無形固定資産		
その他	44,659	39,372
無形固定資産合計	44,659	39,372
投資その他の資産		
その他	280,849	334,012
投資その他の資産合計	280,849	334,012
固定資産合計	3,115,236	3,209,748
資産合計	7,431,294	7,818,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,878	408,615
電子記録債務	782,946	910,956
未払法人税等	—	39,216
1年内返済予定の長期借入金	131,000	131,000
賞与引当金	63,446	36,906
製品保証引当金	1,745	2,224
その他	143,664	305,103
流動負債合計	1,581,681	1,834,023
固定負債		
長期借入金	934,000	1,068,500
退職給付に係る負債	211,836	219,646
その他	60,293	112,202
固定負債合計	1,206,130	1,400,348
負債合計	2,787,812	3,234,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,358,330	4,248,873
自己株式	△34,772	△34,791
株主資本合計	4,625,295	4,515,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,788	50,408
為替換算調整勘定	13,292	17,387
その他の包括利益累計額合計	18,081	67,795
非支配株主持分	104	77
純資産合計	4,643,482	4,583,691
負債純資産合計	7,431,294	7,818,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,056,657	4,951,479
売上原価	3,979,670	3,893,558
売上総利益	1,076,986	1,057,921
販売費及び一般管理費	958,536	885,309
営業利益	118,449	172,611
営業外収益		
受取配当金	5,077	1,280
仕入割引	3,450	3,238
為替差益	3,673	—
その他	2,004	2,754
営業外収益合計	14,205	7,273
営業外費用		
支払利息	6,212	5,981
投資有価証券評価損	4,945	—
その他	4,145	646
営業外費用合計	15,303	6,628
経常利益	117,351	173,256
税金等調整前四半期純利益	117,351	173,256
法人税、住民税及び事業税	27,960	65,576
法人税等調整額	21,224	△774
法人税等合計	49,184	64,802
四半期純利益	68,166	108,454
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△57	△30
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,223	108,485

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	68,166	108,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,643	45,619
為替換算調整勘定	△1,091	4,097
その他の包括利益合計	14,551	49,716
四半期包括利益	82,718	158,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,777	158,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△58	△27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,351	173,256
減価償却費	135,486	160,069
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△115	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,639	△26,540
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,758	479
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,658	7,809
受取利息及び受取配当金	△5,093	△1,287
支払利息及び手形売却損	6,212	5,981
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,945	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,258,895	△44,057
たな卸資産の増減額 (△は増加)	37,448	168,129
仕入債務の増減額 (△は減少)	△292,598	77,594
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△207,089	207,120
為替差損益 (△は益)	△3,974	481
その他	△149,057	58,744
小計	853,670	787,781
利息及び配当金の受取額	4,827	1,287
利息の支払額	△6,212	△5,981
法人税等の支払額	△240,285	△31,605
法人税等の還付額	—	66,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	612,001	817,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△460,172	△102,864
無形固定資産の取得による支出	△3,935	△4,924
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
投資有価証券の売却による収入	5,918	—
その他	△389	△1,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,178	△112,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	550,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△65,500	△65,500
自己株式の取得による支出	△36	△19
配当金の支払額	△211,992	△217,172
その他	△23,330	△28,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	249,140	△111,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	398,903	594,146
現金及び現金同等物の期首残高	617,831	671,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,016,734	1,266,091

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	3,502,921	117.2	1,126,240	123.0
装置部門	620,371	55.8	308,236	76.2
商事部門	965,647	108.3	558,103	154.6
合計	5,088,940	101.9	1,992,581	118.5

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	3,557,336	112.3
装置部門	618,700	56.2
商事部門	775,442	98.5
合計	4,951,479	97.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。